

---

---

朝霞和光資源循環組合  
ごみ広域処理施設整備・運営事業  
対面的対話における確認事項に対する回答

---

---

令和5年6月30日

朝霞和光資源循環組合

## 対面的対話における確認事項に対する回答

No.	書類名	頁	大項目	中項目	小項目	項目名	質問内容	回答
1	要求水準書	23	1	2	6	計画ごみ質	計画ごみ質に関し、第1回質問回答において、「添付資料28 計画ごみ質の補正前元素組成」を受領しております。事業者間での基準を統一するため、添付資料28の可燃分元素組成割合を正としてご指定いただけないでしょうか。	計画ごみ質の元素組成は添付資料28を正としてください。
2	要求水準書	39	1	7	10	試運転	試運転により発生する「焼却炉回収金属」「焼却灰及び飛灰」「破碎残渣、資源物」の運搬・処分に要する費用は、建設事業者の費用負担範囲として記載されております。試運転中に発生する残渣類は、一般廃棄物として業者に処理を委託するものと考えますが、委託業者は建設事業者にて選定してもよろしいでしょうか。組合様にて想定している業者がありましたら、処理単価をご教示願います。	「焼却炉回収金属」「焼却灰及び飛灰」「破碎残渣、資源物」等の運搬・処分に係る事業者の選定は、特に指定はございませんので、建設事業者にて選定してください。
3	要求水準書	53	2	1	2	全体配置	洗車場に関する記述がありますが、1日あたりの洗車台数を教示願います。	洗車台数は、運営事業者所有の車両を洗車することを想定していますので、事業者にて設定してください。 なお、構成市で民間委託しているごみ収集車や組合が所有する車両の洗車については、常時利用することは想定していません。 ただし、大雨時や災害時に組合管理車両やごみ収集車両等の搬入搬出車両に泥などが大量に付着していた場合等は、敷地内通路や周辺道路等への環境に配慮して、洗車場を使用する場合がありますので、配置等については十分配慮して検討してください。
4	要求水準書	154	6	1	1	全体計画	「見学者通路は原則として、同一階で一筆書きの動線となるよう計画する。」と記載がありますが、同一動線の往来が発生する箇所は、車いす利用者に配慮し、以下の計画としてよろしいでしょうか。 1.8m（往路）＋1.8m（復路）＝計3.6m以上（見学者通路有効幅）	原則として同一動線の往来は認めませんが、合理的な制約条件がある場合と判断できる場合に限り認めます。 やむを得ず、同一動線の往来が発生する場合には、見学スペース及び見学者通路の終端部に十分なスペースを確保するとともに、見学者通路有効幅を3.6m以上としてください。

5	要求水準書	添付資料19	マテリアルリサイクル推進施設における搬入出物整理表	第1回質問回答において、「バイク・自動車用のタイヤは、通常は受入をしていませんが、不法投棄物として搬入（非定常）されることが想定されます。」との記載がありますが、想定される年間処理量をご教示願います。	構成市の実績から年間約50本～100本程度の搬入が見込まれます。
---	-------	--------	---------------------------	--	----------------------------------